



ようこそ畜資へ！～山羊と緬羊が畜舎にやって来た～

去る5月18日（木）緬羊2頭と山羊1頭が畜舎に搬送されました。緬羊は、5月23～24日に行われる学生実験（3年生飼養試験）のために京都府船井郡京丹波町の京都大学農学研究科付属牧場より約1ヶ月間の予定で借りてきたもの。山羊は、京都府南丹市園部町の『るり溪やぎ農園』から購入したものです。

朝10時にレンタカーのハイエースで大学を出発。メンバーは熊谷先生（ドライバー）、金島さん、塚原の3名。途中JR園部駅で上原さんをピックアップ。4人で付属農場へと向かいました。出汁の香りがする付属農場（隣に『創味』の出汁工場があります）では、北川先生と金島さんの実験について話し合いが行われました。その後、緬羊を乗せて、車はるり溪へ。

るり溪やぎ農園には、現在かわいい子山羊達がたくさんいます。その中の誕生日の近い雄4頭を車に乗せると、山羊飼育を担当しておられる戸平さんが、一頭一頭に「元気だな…」と声を掛けていらっしゃいました。「精一杯お世話させてもらいますね」と言うと、「よろしくお願いします」と寂しそう…。少し離れたやぎ農園のチーズ工房で

は、代表の川辺さんにお会いすることができ、チーズやドリンクヨーグルトを購入して帰路につきました。熊谷先生はこの瞬間からワインとチーズに心が躍っているようでした。さて、帰路の車内では、床にペットシートとブルーシート、側面にはビニール袋を張って汚れ対策を講じましたが、山羊も緬羊も運搬途中で糞尿をばら撒き、車内は案の定ひどい臭気に見舞われ、某Uさんは、山羊と同じように沈うつな表情になっていました。到着後の車内掃除大変でしたね。皆さんお疲れ様でした。



左から熊谷先生、戸平さん、上原さん、金島さん

山羊・羊導入に関するガイダンスとロープワーク講習会

山羊・羊を導入する2日前の5月16日（火）、飼育管理に関するガイダンスとロープワーク講習会がN378で開催された。この日は、我が畜産資源研究室の大ボス、廣岡教授の講義『動物生産システム論』が午前中に行われた事もあり、出席率は約90%であった。熊谷先生から山羊と羊の導入目的と実験計画、実験動物飼育棟の使用に関する注意事項が説明された。研究室で家畜を飼養する意義は非常に大きいという話を伺った後、実際に家畜を扱う時に必要とな

るロープの取り扱いともやい結びを練習した。M1の某N君は、もやい結びに悪戦苦闘。一方4回生の竹内さんは、ロープの端の処理も見事にこなしていました。もやい結びは、家畜の繋留だけでなく、登山や釣り、船舶関係でも広く使われる用途の広い便利な結び方です。是非この機会に覚えましょう。



目次:

ようこそ畜資へ！	1
山羊・羊導入に関するガイダンスとロープワーク	1
山羊の名前 公募	1
緬羊の毛刈り	2
るり溪 やぎ農園	2
お知らせ	2
飼育当番表	2



子山羊の名前 公募！

今回、畜産資源学研究室で飼育する事になった4頭のオス山羊（9月頃去勢予定）の名前を研究室内の公募で決定する事になりました。希望の方は、山羊番号（1～4）と名前案を明記の上、メールか手紙、口頭のいずれかの方法で、山羊係塚原まで応募して下さい。受付は5月31日（水）までとし、選考後6月上旬に決定した名前を発表します。どしどしご応募下さい



羊の毛刈り(剪毛)が行われました

5月19日(金)京都大学農学部実験動物飼育棟内にて、羊の毛刈りが行われました。はじめに熊谷先生よりバリカンの刃の取り付け方法、毛刈り中の注意事項等の説明がありました。注意事項は、毛刈り中にバリカンが熱くなったらしばらく休止すること、毛を引っ張って刈らない事(皮膚が切れてしまいます)、刃に毛や汚れが詰まるので、ときどき灯油の中でバリカンを動かして洗浄する事、刃の付け替え作業などを行う時には事故防止のため必ず電源を抜くこと、などです。2チームに分かれて2頭の羊を同時進行で刈り始めました。羊毛は非常に脂っぽくて、作業中に手がテカテカになるほどでした。バリカンが重たいので、手から滑り落ちそうになります。はじめは皮膚を切らないようにおっかなびっくり刈っていましたが、次第にみんな腕を挙げて、約2時間かけてきれいに刈りあげられました。たくさん皮膚を切られたSheep2は、ショックのせいか毛刈りが終わってもなかなか立ち上がれずいました。ごめんね…



さすがの職人技!

バリカンが熱くなったらしばらく休止すること、毛を引っ張って刈らない事(皮膚が切れてしまいます)、刃に毛や汚れが詰まるので、ときどき灯油の中でバリカンを動かして洗浄する事、刃の付け替え作業などを行う時には事故防止のため必ず電源を抜くこと、などです。2チームに分かれて2頭の羊を同時進行で刈り始めました。羊毛は非常に脂っぽくて、作業中に手がテカテカになるほどでした。バリカンが重たいので、手から滑り落ちそうになります。はじめは皮膚を切らないようにおっかなびっくり刈っていましたが、次第にみんな

お知らせ

綿羊は、5月23・24日学生実験のために使用されます。その準備が21日午後1時から動物実験棟にて行われます。時間に余裕のある方はお集まり下さい。

山羊については、10月頃からの実験利用が予定されています。その前に去勢を行うことが決まっています。現在は、成長中のため、濃厚飼料の給餌量に変動があります。逐次お知らせしますので、ご注意下さい。

畜産資源学研究室 お誕生日会のお知らせ

今月お誕生日の皆さんをお祝いしてお誕生会を行います。日程は、5月24日、学生実験終了後からぼちぼち始めたいと思います。



山羊たちのふるさと るり溪 やぎ農園

『地球にやさしく、ひとにもやさしく』というキャッチフレーズで、京都府南丹市園部町のるり溪のふもとで40頭ほどの山羊を飼育しながら、山羊乳販売、山羊チーズや山羊ヨーグルトの加工販売、さらに山羊の堆肥を利用した米や野菜作りを行っている。代表の川辺さんは京都大学出身の素敵な方でした。現在販売中の山羊乳製品は、ドリンクヨーグルト、フロマージュ・フレ(やぎミルクを乳酸発酵させただけのもの)、シェーブル・フェルミエ(フレッシュのシェーブルチーズ)、やぎミルクがあり、地方発送も行っています。詳しくはHPをご覧ください。



代表の川辺さんを囲んで

<http://www.ruri-yagi.com/index.html>



この看板が目印→

5月・6月の飼育当番表

Sun	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat
21 大石・西尾	22 菊原・竹内	23 学生実験	24 学生実験	25	26	27 長命・金島
28 レニン・田端	29	30	31	6/1	2	3 椎野
4 塚原	5	6	7	8 竹内	9 菊原	10 西尾
11 金島	12 レニン	13 長命	14 学生実験	15 学生実験	16 綿羊返却	17 大石
18 田端	19	20	21	22	23	24 上原

Laboratory of Animal Husbandry Resources

Department of Animal Husbandry Resources, Kyoto University, Faculty of Agriculture, Oiwakekyo, Kitashirakawa, Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

Tel: (+81)-75-753-6363
Fax: (+81)-75-753-6373

GOAT BULLETIN